

普及活動情勢報告（令和3年12月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

今年の作の振り返り！

～JA高知県四万十夏秋ピーマン部会出荷反省会～



出荷反省会の様子

12月10日、JA高知県四万十支所で夏秋ピーマン部会出荷反省会が開催され21名の生産者が参加しました。

普及所からは、今年度実施した新導入台木の実証試験の結果報告のほか、11月に行った簡易雨よけハウス視察研修会の報告や来作に向けた栽培管理や病害虫に関するアンケート調査を実施しました。

試験報告では、今年度の結果を踏まえて来年度の取り組みについて積極的な意見が出たほか、アンケート調査では、今年度における生産者の実態をつかむことが出来ました。

普及所では、今後も関係機関と連携し夏秋ピーマンの生産振興に取り組んでいきます。

今作のシシトウ栽培を振り返ろう

～シシトウ部会反省会の開催～



シシトウ部会栽培反省会の様子

12月7日、JA高知県大正支所でシシトウ部会を対象に栽培反省会を開催し、7名の参加がありました。

普及所からは、今年度実施した品種試験の結果について説明しました。

参加者からは、「新品種は実が細く樹勢が強い感じ。」、「新品種の仕立て方は従来と同様で大丈夫か？」などの意見や質問が出され、情報を交換しました。

普及所は、今後もJA等関係機関と協力し、シシトウの生産拡大に向けて支援していきます。

集落の農地を守り続けていくために

～米奥集落法人設立説明会～



委員が説明している様子

12月12日、米奥集会所で法人設立の説明会が開催され、米奥営農組合員ら関係機関を含めて21名の参加がありました。

当集落はほ場整備中で、法人へ農地集積を計画しています。昨年度から毎月法人設立準備委員会を開催し、定款案や営農計画案の作成等を普及所は支援してきました。

当日は、委員からこれまでの経過や体制案等が説明され、参加者からの個人の農地利用についての質問に委員が丁寧に回答しました。

今後は設立総会に向けて打合せを行い、資料作成等を支援していきます。

学ぼう！農業経営の基礎知識

～令和3年度 第3回新規就農者研修会～



熱心に受講する参加者

12月3日、新規就農者を対象に、新規就農者研修会を開催し、3名の農家が参加しました。

普及所は、講座で農家の経営管理の必要性や、記帳方法、勘定科目などを説明しました。また、JA高知県四万十支所やNOSAI高知西部支所には、JA青色申告会の取組や農業収入保険制度を紹介してもらい、理解を深めてもらいました。

参加者からは、「収入保険の仕組みがわかって良かった」「これから記帳を始める参考になった」などの意見が聞かれ、有意義な研修会となりました。

普及所では今後も、研修会や個別指導を行い、新規就農者の経営安定に向けた支援を行います。

高南地域の農業発展と課題解決に向けて

～高南地域営農協議会第2回幹事会～



幹事会の様子

12月8日、JA高知県四万十農協会館で、高南地域営農協議会幹事会が開催され、JA高知県、四万十町、中土佐町、普及所、ほか6関係機関から、幹事14名が参加しました。

会では、企画・担い手、作物振興、畜産振興、販売・加工の4つの専門部会から今年度の事業進捗状況及び今後の取組、次年度の予算見積り等について報告し、内容について協議しました。

有望品目の検討については、サトイモの収量・品質を向上させる栽培技術を早期に確立するよう意見が出されました。

情報交換では、策定された「みどりの食料システム戦略」について、今後この協議会で話し合っていくことになりました。

普及所は、同協議会の事務局を担い、有望品目の検討等の課題解決を図ります。